

◎ 広報

川越

4月10日

№236

羊
輪

四月から広報紙「川越」の題字が広報川越に、体裁はA4版に変わりました。今まで同様「愛読ください」。

また、広報紙をとして保存できるように表紙を作成し、みなさんのご家庭へお届けいたします。

題字は川越市長加藤龍一書

発行所 川越市役所 埼玉県川越市元町1丁目2番地 電話川越(0492)23-1450(代) 郵番350



完成間近かな南バイパス(うとう坂付近)

より豊かな郷土をめざして

市政をすすめていくための台所ともいふべき、昭和四十四年度の予算が、三月定例市議会で成立しました。

成立した新年度予算は、一般会計三十一億九千七百万円、特別会計三十一億一千七百万円、総額六十三億一千四百万円、昨年度当初予算を十億三千万円も上まわり、川越市としては、かつてない画期的な大型予算となっています。

川越市はいま、首都圏の経済圏内にあって、急速な発展をつけ、諸企業の進出は著しく、人口もますます増加しています。

市では、ここ数年このように発展する川越市を、より住みよく、より魅力ある都市とするため、都市施設の近代化、産業の振興、教育文化の向上、市民福祉の増進等の実現をめざして努力してきましたが、昭和四十四年度からは、さらにこの政策のスケールを大きくひろげ、教育土木、市民福祉を重点として、市民生活の向上を図り、より豊かな郷土川越の建設に取り組むことにしています。

基本は市民生活の向上

積極的な都市づくりを推進

予算編成方針



市議会第一回定例会は、去る三月十二日から会期十九日間にわたって開かれました。加藤市長は、この市議会を都市づくりと市民福祉の増進を柱とし、昨年を大幅に上回る画期的な大型予算を計上して、次のような予算編成の基本方針を明らかにするとともに、市民のみなさんにご協力をお願いしました。

収入見積は堅実

川越市は、去る一月人口が十五万人を突破し、さらに急速な膨張を続けております。かかるに、本市の都市計画は、十年前の昭和三十四年に策定され、最早や市の実情に合わないものであります。市は現に新しい都市計画の基本案の策定を日本都市計画協会に委託中であり、従いまして、本来ならばこれを新年度の予算案の作成に間に合わせるべきであります。偶々新都市計画の実施が本年六月となりました関係上、該基本案の完成も、勢いその時期まで保留せざるを得なくなったわけでありました。

大幅に事業費増額

福祉行政を充実

しかしながら、私は、市長に就任以来、市の理事者として私心を払拭し、公明正大、常に身を清潔の境地に置き、職員と共に飽く迄も誠実な市民の公僕としての強い責任感と積極的な熱意とを以て市政の推進に当るは勿論、特に市民との対話並びに民意の反映の為に休日とも夜間もなく、全力を傾けてその実現に努力して参ったのであります。幸いにして、私が選挙の際、公約致しました諸懸案も殆んど解決を見るなど、市政は漸く軌道に乗り、今やこの健全化した市政と補助金の明瞭な政治体制を基礎として、さらに三十万都市造りの施策を果敢に推進しつつあります。これは、これ偏見なく、市民各位の深いご理解と協力によるもので、私の深く感謝申し上げる処であります。

しかしながら、川越市と致しましては、単なる東京都のベッドタウンに墮することなく、商業および農業の外に工業をも十分に取入れ経済の発展と財政的基盤強化を図る配慮と努力が肝要であります。しかも、新しい開発、発展に処する為には、その基盤となる道路網をはじめ、上下水道、教育および社会施設等の整備を必要とするは言を待たない処であります。新年度予算案の作成に当りましては人口急増に伴うこれらの都市施設の拡充整備と市民福祉の増進に意を用いた次第であります。

この数字は、一般会計予算総額の二七割を越え、川越市としては嘗て見る巨額の子算であります。小学校建設関係では、継続の霞ヶ関小分校、仙波小分校、高階小分校および名細小の四校増築の外に、新しく霞ヶ関小防音校舎改築設計並びに小学校プール、同体育館等の建設であります。また、中学校建設関係では本年度新しく認められた霞ヶ関中学校防音校舎の改築と、高階中学校増築並びに中学校体育館および技術科教室各一の建設費であります。なお昨年来着工中の学校給食共同調理場の建設は、本年度計上分七千九百九十九万に、前年度の六千五百九十九万を合せ、総経費一億四千四百九十九万になる大事業であります。この完成によりまして、愈々九月の新

産業の振興

産出の主なものについて申し上げ

また、先づ民生関係については、新に、重度心身障害者福祉年金と低所得層多子家庭に対する児童手当の支給に要する経費を計上し、さらに義務的な予防接種手数料を無料といたします。

霞小分校が独立

四月一日から霞ヶ関小学校分校が独立校となりました。名称は、霞ヶ関北小学校となります。

学校長人事

(カッコ内前職)

- 【退職】(三月三十一日付)
 - ▽小高勝治(月越小学校)▽市川信義(霞ヶ関小学校)▽野川政之(大東中学校)▽芳村信太郎(養護学校)
- 【転出】(四月一日付)
 - ▽中央小学校長、利根川一冬(所沢明峰小学校)▽月越小学校長、村松由治(中央小学校)▽芳野小学校長、齊藤勝(三芳野小学校)▽霞ヶ関小学校長、大井源作(水谷小学校)▽霞ヶ関北小学校長、松本三夫(大東東小学校)▽大東中学校長、府川忠夫(高麗中学校)▽大東東小学校長、田原実(市教委社会教育課長)▽養護学校長、加藤一彦(中央小教頭)
- 【他校へ転出】(四月一日付)
 - ▽福岡二小校長、日出間義男(芳野小学校)

保育園の名称が変わる

従来第〇保育園と呼ばれていた市立保育園が、四月一日から次のように名称が変更になりました。また私立の武蔵野保育園が市に移管され、市立保育園となりました。

土木事務所・労働基準監督署が移転

川越土木事務所が四月二日から川越労働基準監督署が四月九日から、それぞれ次のところへ移転いたしました。

- ▽土木事務所 旭町二丁目三六
- ▽労働基準監督署 新信町二丁目六二二三



主な特別会計

また、水洗便所改築費金貸付特別会計につきましては、前年同様、五百五十戸の貸付を予定いたしました。江川流域下水道建設特別会計並びに高階第一土地区画整理特別会計につきましては、何れも、予定事業に基づき計上しておりますが、江川につきましては、僅かながら前年度から初めて一部着工の運びとなったわけでありました。

上水道

また、終末処理場につきましては、第二系列中の最初沈澱地等の経費を計上いたしました。更に、と畜場につきましては、施設整備基金制度を新設し、今後の整備に備えることと致しました。

全域給水化へ

次に上水道事業は、新年度から第三

土木で15億円

一般予算の50%を投入

土木建設関係の事業は、教育と共に私が市政上最も重視する処であり、四十三年度に於ても、同経費の大幅な増額に努めたことは勿論であります。従いまして、道路行政に於きましては、前年度から継続の入間川水久橋の建設、三ヶ島街道の道路改良等を引きつづき推進する外、市道の舗装、新設改良、砂利および橋梁等の所要経費を増額致しました。

充実する下水道

下水道事業につきましては、四十三年度中に北部運集幹線が終了致しますので、新年度は、中部幹線等を計画し、新しく工事を第五第六の各負担区に及ぼす考えであります。

上水道

また、終末処理場につきましては、第二系列中の最初沈澱地等の経費を計上いたしました。更に、と畜場につきましては、施設整備基金制度を新設し、今後の整備に備えることと致しました。

全域給水化へ

次に上水道事業は、新年度から第三



請 願 六 件

採 択 さ れ る

市議会第三回定例会に提出された請願は、つぎのとおりです。

▽ 県立川越農業高等学校校庭を横断する市道閉鎖方請願について

は、埼玉県立川越農業高等学校の校庭を横断する市道について、学校管理運営面や、通行する人を含めて、生徒の危険防止の面からも、市道を閉鎖されるようにとの主旨により、埼玉県立川越農業高等学校PTA会長、平岡喜代志氏ほか十名より提出されたものであります。

▽ 市立富士見中学校校舎改築促進方請願について

は、富士見中学校が建設以来二十年を経過し第一棟は一昨年危険校舎の指定を受け、同時に建築された第二棟も老朽化し、ほぼ同じような状態にあるため、一日も早く、改築されるようにとの主旨に

より、川越市立富士見中学校PTA会長、天沼照雄氏ほか七十三名より提出されたものであります。

▽ 市内小仙波町三、四丁目地内下水道敷設工事施行に伴い市道第三号線を完全舗装方請願について

は、小仙波町三、四丁目より仙波町三丁目に至る市道第三号線の下水道敷設工事施工に伴い同路線の舗装を完全舗装にされたいとの主旨により川越市仙波町三丁目町内会長、原義男氏ほか四百一十五名より提出されたものであります。

▽ 児童手当支給の早期実施方請願について

は、わが国の児童憲章にもあるとおり、児童の養育については、国の責任において配慮されるべき建前であるが、本市においても、市町村の実情を充分検討し、児童手当の早期実施を計り、家庭児童養育費の一助となるよう考慮されたいとの主旨により、川越市南通町二十番地、佐藤仲治郎氏ほか二万三千五百二十一名より提出されたものであります。



請 願 さ れ た 富 士 見 中 学 校

▽ 川越市役所管内第二出張所管内に公民館設置方請願について

は、霞ヶ関地区の年間諸行事の大部分が、霞ヶ関第二出張所管内の地区より比較的遠距離の公民館所在地で行なわれるため、住民はそれの参加を敬遠がちとなり、その効果を半減するため、霞ヶ関第二出張所管内の地区を健全に発展させ、よりよき社会生活を営み、更に、茶の間として利用できる独立の公民館を、設置されるようとの主旨により、角柴団地自治会長、関度氏ほか四千二百四十三名より提出されたものであります。

一 般 質 問

以上六請願は、市議会第三回定例会第十二日(三月二十二日)より開催された文教・厚生・建設の各常任委員会に付託し、審査した結果、採択することに決定したと各常任委員長報告があり、本会議最終日(三月三十日)に審議したのち採択と決定いたしました。

- 市議会第三回定例会第九日(三月十九日)第十日(三月二十日)の二日間にわたり、次の議員より一般質問がおこなわれました。
- 安 田 健二郎 議員
 - 一、市民よりの「地方公共団体の長の兼職禁止に関する申請書」の取扱について
 - 二、川越少年刑務所移転について
 - 戸 田 正 雄 議員
 - 一、都市計画について
 - 二、し尿処理と終末処理場について
 - 三、中央公民館建設について
 - 荒 井 智 一 議員
 - 一、新都市計画法について(無指定区域は定められないか)
 - 二、高速自動車道路と河川について
 - 天沼 半石工門 議員
 - 一、都市計画について
 - 二、道路行政について
 - 中 村 源 次 議員
 - 一、児童福祉行政について
 - 間 仁 田 春 二 議員
 - 一、交通傷害保障制度について
 - 二、駅前計画について
 - 安 田 謹之助 議員
 - 一、教育行政について
 - 二、青少年問題について
 - 木 村 豊太郎 議員
 - 一、新設校の体制について
 - 二、学校給食について
 - 三、税務行政について
 - 中 村 光 男 議員
 - 一、宮元町地内の旧赤間川廃川敷地の処置について
 - 後 閑 芳 雄 議員
 - 一、歩道橋について
 - 二、川越少年刑務所移転について



市 議 会 日 誌

二月二十六日午後一時より、市役所応接室において「市議会運営委員会」が開催され、「市議会運営について」などを、それぞれ協議いたしました。

三月二日午前十時に、浦和市自治会館において「埼玉県町村議会議長会定期総会並びに自治功労者表彰式」がおこなわれ、議長および事務局長が出席いたしました。

三月二日午後一時より、市民会館において「川越市青少年健全育成推進大会」が開催され、議長および事務局長が出席いたしました。

三月四日午前十時より、楠川町において「県道川越古河線太郎右エ門橋架設促進期成同盟会通常総会」が、開催され、副議長が出席いたしました。

ついで、午前九時三十分には、飯塚市議会議員一名が、行政視察のため来庁し「市政全般について」熱心に、視察されました。

三月六日より八日までの三日間にわたり、建設常任委員会が天理市、東大阪市、岐阜市において「所管部門の現況について」行政視察を実施いたしました。

三月七日と八日の二日間にわたり、厚生常任委員会が、甲府において「所管部門の現況について」行政視察を実施いたしました。

教育委員を同意

地方教育行政の組織および運営に関する法律第四十一条の規定により「教育委員会委員」を、また、地方自治法第九十六条第一項の規定により「監査委員」を、それぞれ、選任いたしたいと、議会の同意を、本議会最終日(三月三十日)に求められましたので、提案理由の説明、質疑などののち採決した結果同意された各委員は

▽ 教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて

川越市中原町一丁目三番地三

水 村 三 郎

▽ 監査委員の選任につき同意を求めることについて

川越市宮下町二丁目四番地一

岸 野 政 雄

明治三十八年一月十四日生